

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスNEST			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 25日 ～ 令和7年 3月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 25日 ～ 令和7年 3月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動やスポーツを中心とした集団療育を行い、運動機能や身体動作の向上だけでなくSST(ソーシャルスキルトレーニング)の向上を図っている。	成功することが目的ではなく、成功するまでの過程に重きを置き、成功するためにはどうしたらいいのか。成功できるように失敗を恐れるチャレンジしてみるといった姿勢を意識的に行っています。  プログラムは児童たちに『ねらい』として意識してほしいことを伝えていきます。 スポーツにはルールが必ずあったり、チーム戦であればコミュニケーションが大切になります。指導員がついて一緒にプログラムに取り組みます。	運動だけではなく脳トレも同時に行える、ライフキネティックのトレーニング要素を入れながら参加する児童が楽しくかつ学びとなるように取り組んでいく。 運動やスポーツは楽しいものだ伝えたい。失敗してもいいんだよ。というところから自己肯定感が育まれる取り組んでいく。
2	学校休業日は工作や調理プログラムの他、野外活動にも積極的に出掛けている。	季節の野菜など季節を感じられる料理を作ったり、季節ものの工作物を作っています。土曜日は隔週で外出しており公園や動物園などに出掛けています。ご利用者限定公開でInstagramで活動風景を配信しています。	日常では体験できない、NESTでしか体験できない特別な行事にも企画・参加していく。
3	相談支援事業所と併設しており地域の社会福祉サービスなどとの情報交換スムーズにできる。	放課後等デイサービスだけで地域との交流や情報収集するのは難しいと感じている。併設している相談支援事業所の相談支援専門員の力を借りて地域の情報を共有してもらっている。それを保護者にお伝えしている。	この地域で有意義に生活していくための情報をご利用者様に情報を発信できるように引き続き取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流する機会を設けられない。	感染症(コロナ)の流行等により開催がなくなり再開ができていない。	感染症など開催にあたっては配慮しながら、親子参加型のイベントを企画、実行していく。 地域住民にも参加を促したい。
2	保護者様への災害時の対応やマニュアルの周知が出来ない。	職員の閲覧しやすさや、利用児が来所された際のリスクを考え設置していた。	利用児の目が届きにくく保護者の方が手に取りやすい場所を作りマニュアルの設置場所にする。
3	事業所と保護者様との連絡ツールに課題を感じている。	メール、電話、連絡帳と今は複数の連絡ツールを使用している。共有の漏れなど管理に課題がある。	公式LINEを開設し、連絡ツールを一本化し管理を簡易化するように取り組んでいく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスNEST

公表日 2025年3月21日

利用児童  
数

36

回収数

23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2			運動するには少し狭く感じる。 もう少し広い方が体の大きな子にはいいと感じる。	限られたスペースにはなるので怪我等安全にはしっかりと配慮して支援を行います。また、公園などで行うことも取り入れていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			1		有資格者を配置しており、職員体制を整えております。更なる配置が出来るように取り組んでいます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	2				運動するスペースと学習するスペースと分けています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					個別支援計画に基づき、ニーズや課題に応じて計画を作成させていただいております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					ホームページに支援プログラムを公表しています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23					評価に基づいて個別支援計画を作成し、ニーズや課題に応えることができるように計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1				日々、指導員同士で話し合い改善等取り組んでいます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	5	3		児童館でダンススクールを行いました。今後開催を増やしていけるようにしていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					契約時に適切にご説明させていただきまます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	3	3		ご家族の方が参加できる研修や講習の情報提供をしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23					送迎時や連絡帳によりしっかりとお伝えしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1				ご相談等ある際はいつでもご連絡を頂きたいです。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	9	2	保護者同士の交流は欲しいと思いつつも各家庭のスケジュールもあるので難しいと思う。 保護者間での交流が出来るようなイベントを開催していきたいです。また一度だと参加できない保護者様がいると思うので年間で数回開催できるようにしたいと考えています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2			
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		2	マニュアル、災害時や感染症対応の計画も作成しています。保護者に対して事業所としての対応の説明が不十分なため周知していきます。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1			事業所では毎月避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2		1	安全計画を周知し、活動環境を構造化して安心して活動が行えるように今後も継続し行えるようにいたします。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23				事故等(怪我等を含む。)が発生した際には、迅速に保護者様や関係機関へご連絡をさせていただいております。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23				
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23				
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				児童の利用をためらう特性の子どもにとつてとても助けになっております。また、支援内容も運動中心で子どもも拒否感なく通えていると思います。ますます体力もついてきて大変な中、色々な活動に参加できるように支援していただいている。 ありがとうございます。 引き続き、皆様が安心安全にそして楽しく活動ができるように努めてまいります。 皆様のご意見を大切により良いご支援をご提供できるよう職員一同努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスNEST		2025年 3月 21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児童の体格が大きくなってきたこともあり、状況に報じて散歩など出掛けたりしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準プラス1名は配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	活動スペースと学習スペースに分かれている。 入室してから動線に予定表(NESTでのスケジュール)を視覚でわかるように掲示している。	段差があるところがあるので配慮が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	空気清浄機を使用している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて別室で対応している。 着替えやクールダウンで別室をしよう。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	ミーティングを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケート後、事業所内で改善等のミーティングを行い周知している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ミーティングを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者による外部評価を検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	事業所内研修を行っているが、外部研修にも参加できる機会を確保している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ホームページに大まかにプログラムを公表している。 その日の参加児童によって内容を工夫している。 毎月のプログラムカレンダーを作成して保護者に伝えている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	定期的な保護者面談でニーズ・課題の聞き取りをしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリング会議を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	日常的に支援内容がわかるように一覧としてまとめている。 計画は共有され、支援に反映している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	定期的にミーティングを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	内容のローテーションさせている。 継続して身に付くものも多いため、固定されているものも多い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	基本的には集団活動を行っている。 児童の情緒面を配慮し、個別対応をすることもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	ミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	ミーティングを行っている。 アルバイト含め全員は参加できていないので共有ノートを用いて周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にミーティングを行っている。 児童の状況を見て判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0	活動の中で取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保護者や相談支援専門員を介している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者を介している。	下校時間など上手く連携が取れていないことがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	保護者を介している。 必要に応じて書面で情報をいただいている。	アルバイトを含めると周知、相互理解は課題がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	保護者や相談支援専門員を介している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		一部の従業員だけの参加と偏っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	児童館でダンススクールを行った。 公園や野外活動時に交流する場合もある。	交流できる機会を増やしていきたい。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	現状、事業所としては行っていないが同法人で参加しているので共有されている。	事業所としてスタッフが参加できるように努めたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳にて共有、送迎時での活動報告をしている。 定期的な面談で共通理解をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		家族等の参加出来る研修等の実施は出来ていない。開催を検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時や変更があった場合に伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談での聞き取りの上、作成・説明を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	ご要望があった場合行っている。必要に応じて学校や他事業所を交えて行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	活動の様子はInstagramで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		イベント等開催し地域住民も招待できるよう開催を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメントをとり確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	必要な児童には保護者から提出してもらい対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	作成し必要な研修及び訓練を行っている。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		作成はしているがご家族等への周知は弱い。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	作成し、ミーティングで周知、再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	社内研修を定期的に行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		